

盲導犬使用者研修会

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部 24 番地

助成事業の概要

盲導犬は一定期間、視覚障がい者との共同訓練を経て貸与されますが、年月を経過するにつれて、また使用者の生活環境によって、盲導犬をコントロールする技術に変化が生じてくるため、都度再調整が必要となってきます。当協会では、年に1度盲導犬使用者を一同に会し、「ワンダフル会」と称して盲導犬使用者の研修会を行っております。

この度も10月11日、12日の2日間にわたり、助成を頂き研修会を実施致しました。10名の盲導犬使用者とその介助者、ボランティアや、今後盲導犬貸与を控えている盲導犬貸与希望者数名にご参加いただき、盲導犬歩行に関する指導員からの研修の他、実際に三宮の街中を歩行しながらの歩行指導を実施致しました。また、研修会では、視覚障害を抱えながら音楽活動を通してご活躍されている楊雪元様をお招きし、笛やピアノの演奏を交えてお話をお聞かせいただき、使用者の皆様を楽しみながら研修を受けて頂きました。

懇親会では使用者同士、盲導犬歩行に関する課題や対策についての情報交換を行いました。

事業の成果

ワンダフル会は、普段遠方であったり、ご本人が仕事で多忙のためになかなかフォローアップに伺えなかったりする盲導犬使用者に、必要に応じて直接指導や助言を行うことのできる貴重な機会です。今回は研修会会場・宿泊場所を三宮に定めた

こともあって、人通りの多い街中の歩行や電車の乗降を実際に行うことができ、また普段遠方で神戸の地を歩いたことの無い使用者にも楽しみながら歩行技術の確認をしていただくことができました。観光地でもあるため、当日三宮の町は多くの方で賑わっており、一般の方の目に触れる機会も増え、盲導犬に対する関心・理解を深めて頂くことにも繋がりました。

盲導犬使用者同士が顔を合わせる為、使用者同士普段の悩みごとを相談しアドバイスをし合ったり、盲導犬の受けいれに対して理解のある店舗を紹介しあうなどして、活動の幅を拡げるための貴重な情報交換の場となりました。また、盲導犬を連れての入店拒否の体験談を、指導員を交えて気兼ねなく話し合い、使用者・指導員で解決策を練るなど、今後の具体的な方針へ繋げることもできました。

指導員にとっても、盲導犬の歩行状況を直に見ることができ、また必要に応じて的確な指導方法を直接お伝えすることのできる良い機会となり、また訓練士を目指す者にとっても実際に視覚障がい者の介助に携わったり盲導犬の様子や指導員の姿を目にすることができ、大変良い学びの機会となりました。

参加された使用者の方々からは「本当に楽しかった。来てよかった。」との感想を頂くことができ、大変充実した研修会を執り行うことができました。

■ 成果の広報、公表

助成金の受託報告に関しては、当協会ホームページ内において公表いたします。また、当協会の広報誌『ワンダフル通信 第68号（2014年1月号）』においてワンダフル会の記事を掲載する予定です。

■ 今後の展開

今回の反省点を活かし、研修会の場所・指導方法や内容を検討し、盲導犬利用者にとってさらに充実した研修会を実現すべく協議を重ねてゆきます。使用者が「楽しみながら安全に盲導犬と歩く」ことができるように、音楽などの視覚障がい者にも楽しめるような内容を取り入れて研修会参加者に楽しみながら学んで頂けるような工夫を凝らし、さらに視覚障がい者に有用な情報提供を行う場として研修会を行っていきます。